

いただきます!



食育だより1月

令和2年1月 白山市立広陽小学校

ごちそうさま!



あけましておめでとうございます。今年もおいしい給食を通して、みなさんに健康と幸せを届けていきたいと願っています。1月24日～30日は全国学校給食週間です。学校給食は、明治22年に山形県で始まりました。給食の歴史や給食に携わる人たちのことについて考えてみましょう。



感謝して食べよう

いただきます

ごちそうさま



私たちは毎日、他の生き物の「命」をいただき、自分の「命」を養っています。毎日口にする食べ物のうち、水と塩以外は全て「命」を持っていた物ばかりです。お米、野菜、果物、魚、肉、豆、卵など、一日に約30種類の「命」をいただき、自分の体の成長に役立っています。大切な食べ物を、平気な気持ちで残したり、捨てたりすることは、他の生き物の「命」を粗末にすることになります。食事の前に、「いただきます」とあいさつするのは、「命をいただきます」の意味なのです。

食事の後には、「ごちそうさま」と言います。これは、その食事ができあがるまでに、一生懸命に走り回り作物を作ったり、運んだり、料理をしたりと、苦勞をしてくれた方々への労いと感謝の意味の「ご馳走様」です。

「おいしい給食ができるまで」 密着！給食室の1日

8:15～9:30

9:30～11:00

11:00～12:00

13:00～16:00



冷たい水で野菜を
ていねいに
3回洗います。



たくさんの
野菜を、包丁で
小さく切ります。



おいしくなるように、
愛情をこめて一生懸命に
作ります。



残さずに食べて、きれ
いにかたづいている
と、うれしくなります。